

熊本 SJCD 例会抄録

演題 咬合支持が崩壊した患者に咬合再構築を行った一症例

演者名 松原 明日香

日 付 2010 年 10 月 26 日

Keywords

- 1) ブラキサー
- 2) 咬合高径の設定
- 3) オーバーレイ治療用義歯

抄 録

咬合をどう捉えるかを考えるには、理論的・理想的な咬合を作り上げるのではなく、適宜、適応する咬合を見つけだすことにあると思います。

今回、咬合支持が崩壊してしまっている患者に、義歯を入れて咬合再構築を行いました症例を発表いたします。

患者は75歳女性。長年のラテラルのブラキサーにより、残存歯が歯髄炎を起こしておりました。

根管処置を進め、義歯を入れていくにあたり、オーバーレイの治療用義歯を用いて咬合高径を模索していきました。

順序立てた十分な治療計画もなく、少し遠回りをしてしまった手順となりました。また、過去の資料がなく、自分のやったことへの評価ができないといった反省点もございます。

諸先生方のご指導よろしくお願い申し上げます。

